



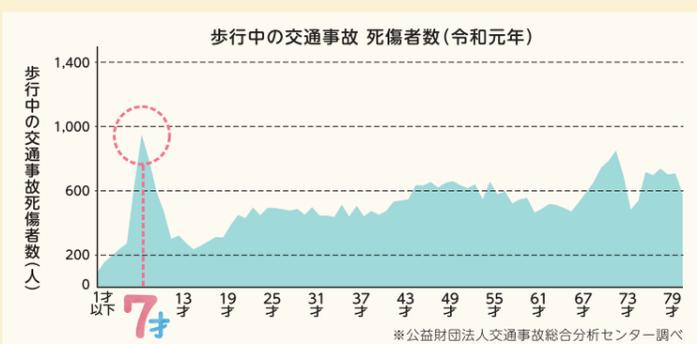
7才の交通安全プロジェクト



こくみん共済 coop では、「未来ある子どもたちを交通事故から守りたい」。
そんな思いから、みんなで子どもたちの安全を守っていく「7才の交通安全プロジェクト」に取り組んでいます。

プロジェクトで解決したい社会課題

小学校にあがると、行動範囲がぐんと広がる7才の子どもたち。しかし、大人よりも目線が低く、まだ十分に注意力が育まれていないために、他の年齢に比べて突出して交通事故に遭いやすいというデータがあります。こうした7才児を中心に、子どもたちを交通事故から守るため、さまざまな活動に取り組んでいます。



子どもたちの安全をみんなで守っていくために、
さまざまな活動を行っています。

取り組み その1 横断旗の寄贈

マイカー共済のお見積り1件につき、横断旗1本を全国の児童館・小学校などに寄贈しています。あなたもぜひ、この取り組みにご協力ください。



取り組み その2 金沢大学との共同研究



取り組み その3 交通ルールが学べるデジタル絵本の公開



私たちの活動は、社会に広がっています。

読売新聞・中日新聞・北國新聞の記事で紹介されるなど、さまざまなメディアで、こくみん共済 coop の「7才の交通安全プロジェクト」が紹介されています。



2,865の団体が活動に賛同!

7才の交通安全プロジェクトに賛同いただいている協力団体は、2,865団体(2021年4月時点)。子どもの安全を見守る多くの方々の思いに支えられて、今後も取り組みをすすめています。

これまでの取り組み

2019年1月「7才の交通安全プロジェクト」スタート!

2019年11月 金沢大学との共同研究を開始!

子どもたちの目線や行動から事故の状況を再現。デジタル標識開発など、安全を守るための具体的な分析と施策に共同で取り組んでいます。



金沢大学と共同で教材の開発・実験を実施!

子どもたちの行動を科学的に研究し安全を守っていく取り組みとして、金沢大学と共同で交通安全教材「7才の交通安全マップ」を開発。教材を活用した実験も行いました。



これまでに320,800本の横断旗を全国の児童館・小学校などに寄贈しました。

こくみん共済 coop では、みんなで安全な環境をつくるため、全国の児童館・小学校などにオリジナルの横断旗を寄贈してきました。寄贈した横断旗は、登下校時の見守りや交通安全教室など幅広く活用いただいています。子どもたちの安全を守る活動の輪を広げるために、この取り組みを継続していきます。



全国各地の寄贈の様子

横断旗の寄贈先は全国に広がっています。



小学校での寄贈の様子



寄贈式を行った東京都港区立高輪台小学校から
交通事故から子どもたちを守るために小学校低学年を中心に、児童が巻き込まれる痛ましい事故があとを絶たない昨今、今回寄贈された横断旗が子どもたちの未来を守る一助になってくれることを切に願います。また、「7才の交通安全マップ」は、子どもたちの交通安全への理解を深めてもらうために、非常に有効なツールであると感じました。交通事故のない、安全な環境づくりに向け、授業などで積極的に活用していきたいと思えます。

プロジェクトサイトでは、交通安全に関するさまざまな情報を発信しています。ぜひご覧ください。

7才の交通安全プロジェクト
<https://www.zenrosai.coop/anshin/7pj/>



たすけあいの輪をむすぶ